

## 第 6 回日中韓三カ国会計基準設定主体会議報告

日中韓三カ国会計基準設定主体会議は、アジアの 3 カ国の会計基準設定主体間で、内外の会計基準設定上の様々な問題を共有し、解決に向けて意見交換を行うことを目的としている。

## 1. 開催日・場所

開催日) 平成 18 年 8 月 30 日、31 日  
場 所) 韓国ソウル教育文化会館

## 2. 出席者

ASBJ (斎藤委員長、西川副委員長、石井委員、スタッフ 3 名)、FASF (遠藤常務理事)、中国会計准则委員会(CASC)、韓国会計基準委員会(KASB)

## 【オブザーバー参加】

IASB (Tom Jones 副議長、山田理事、Tom Seidenstein 事務局長)、  
香港特別行政区、マカオ特別行政区

## 3. 議事概要

## (1) 各国設定主体の最近の活動状況

## ① 韓国

- ・ 昨年以降開発した会計基準  
株式報酬、財務諸表の作成と表示 I、財務諸表の作成と表示 II (金融業)\*、1 株当たり利益\*、連結財務諸表\*、従業員給付 (公開草案)、Q&A (スタッフ・オピニオン) \*完成間近
- ・ IFRS の全面的採用 (フル・アドプション) についての検討
  - 昨年は、IFRS の全面的採用 (IFRS の内容を完全に採用) ではなく、包括的採用 (やむを得ない点を除いて、ほぼ全ての IFRS の内容を採用)、漸進的アプローチを支持し、様々なタイプの企業を考慮にいった階層化戦略を採るという方針であったが、2006 年 1 月 26 日に韓国の金融監督委員会 (FSC) が、IFRS の全面的採用について検討を行うためのタスクフォースの立ち上げを発表。
  - タスクフォースは FSC、金融監督院 (FSS)、KASB、そして証券と会計業界の代表者で構成。
  - IFRS の全面的採用に向けたロードマップを検討。
  - 検討計画
    - a) 韓国会計基準と IFRS との差異の評価
    - b) IFRS 全面的採用に向けての戦略プランの作成  
※代替処理をなくす、開示を上乗せする等の差異は生じる予定とのこと。
    - c) 2007 年より、公開企業については、連結財務諸表を主たる財務諸表とする。
    - d) 韓国会計基準設定主体 (KASB) の役割

### e)IASB への協力と IASC 財団への貢献

- ・ KASB の将来活動
  - IFRS 全面的採用への準備
  - K-IFRS の作成
  - 非公開企業、中小企業のための会計基準
  - IFRS 開発への積極的な参加

### ② 中国

- ・ 2006 年 2 月 15 日に、中国財政部は北京の人民大会堂において、公開企業が 2007 年 1 月から適用する、IFRS にコンバージした新しい中国会計基準の公表セレモニーを開催。
  - 新しい会計基準は、1 つの基本会計基準と 38 の個別会計基準（一般企業向け、特定業界の特定企業向け、報告基準）で構成。
  - 公開会社での適用状況を見て、2008 年を目処に非公開会社にも適用を奨励する予定。
- ・ さらに適用ガイダンスの公開草案を 7 月末に公表しており近々最終版が公表される予定。
- ・ また、財政部は新しい会計基準の教育トレーニングを実施するとともに、新しい会計基準の適用による企業の損益や純資産に与える影響についてのテストも実施。
- ・ 中国の新しい会計基準の特徴は、国際的な慣行から学びつつ、国内の事情を考慮し、広くカバーされ、独立して適用されるということである。

### ③ 日本

- ・ IASB との共同プロジェクトや FASB との定期協議等、国際対応を中心に最近の活動状況について説明。

### ④ IASB

- ・ FASB とのコンバージェンスプロジェクトの状況と最近取組みだした基準開発を中心に説明が行われた。

### (2) JWG 活動について

韓国、中国、日本からそれぞれの研究テーマ\*について、研究状況を報告し、ディスカッションが行われた。

\*韓国は共通支配下取引、中国は公正価値評価、日本は収益認識（第 1 フェーズとして工事契約）を取り上げている。

### (3) オープン・セミナー

各国設定主体より、各国設定主体の最近の活動状況と JWG の活動のまとめについて報告が行われた。

その後、ソウル国立大学 Lee-Seok Hwang 氏より「IFRS 適用における国家会計基準設定主体の役割とビジョン」と題してプレゼンテーションが行われ、これについてディスカッションが行われた。

以上